

## 川面を眺めながらのビアパーティ 110名が親睦深める

近畿印刷産業機材協同組合は8月29日、大阪・中央区の大阪キャッスルホテル内「中華料理 錦城閣」において恒例の交流ビアパーティを開催。組合員及び組合員企業の従業員ら110名が出席し、親睦を深めた。

冒頭、開会の挨拶に立った加貫理事長は、アベノミクス効果の実感に乏しい現状に言及した上で、「気負けすることなく前進あるのみ」と檄を飛ばし、恒例となったビアパーティで「日頃の疲れを癒やして欲しい」と呼びかけた。

会場では、夏の夕暮れに映える大川の川面を眺めながら、ビール片手に組合員企業の従業員同士が歓談する場面も見られ、和やかなムードのもと、参加者は暑い夏の夜のひとときを楽しんだ。



### 恒例のゴルフコンペ

## 優勝はジェピックの野々下氏



組合員交流の場として恒例となった「ゴルフコンペ」が10月29日、奈良の飛鳥カンツリー倶楽部において開催され、19名が参加した。

競技方法はダブルペリア。優勝は㈱ジェピックの野々下進一氏(OUT52、IN48、GROSS100、NET71.6)で、ベストGROSSは高橋龍男氏(ケイズカンパニー㈱、OUT43、IN44、GROSS87)、ドラコンはOUT8番で木田憲治氏(㈱木田鉄工所)、IN18番で岩本将基氏(㈱メディアテクノロジージャパン)、ニアピンはOUT7番で大橋哲夫氏(三和化学㈱)、IN12番で杉本榮次郎氏(キョウエイ㈱)。



▲優勝の野々下氏(右)

### 古希以上の長寿を祝う

## 大阪天満宮で「長寿会」

大阪印刷関連団体協議会(吉田忠次会長)は11月4日、大阪天満宮において秋恒例の「長寿会」を開催。32名が参加した。

長寿会は、古希(満70歳)以上の大阪印刷・関連業界人を招いて長寿を祝うとともに、業界発展への功績に対し敬意を捧げ、健康で豊かな老後を有意義に過ごせるよう祈願する恒例の行事。昭和43年に「明治会」として開催されて以来、今回で47回目を迎えた。

秋晴れとなった当日は、大阪天満宮本殿において長寿祈願神楽奉納、本殿前での記念写真撮影が行われた後、天満宮表門前の「相生楼」において懇親宴が催された。

その席で吉田会長は、長寿会について「大阪印刷業界の伝統であり重要な行事」とした上で、「後世に伝え、今後も諸先輩方の功績を讃えていきたい」との想いを語った。

次いで、長寿会を代表して参加者の中で最年長(96歳)となる住野修二氏(元・大阪府印刷工業組合理事長)が挨拶。「これまで生かされた命、感謝しかない」と述べ、電動自転車でグランドゴルフへ出掛ける日常を紹介し、長寿の秘訣の一端を語った。

この後、大阪府グラフィックサービス協同組合の岩下登理理事長による乾杯発声で懇親宴へと移った。

宴席では旧交を温め合う中、松村英二氏(松村善進堂)の計らいにより、桐竹繭紗也氏による乙女文楽(3人遣いの文楽人形を女性の人形遣いが1人で操る芸能)、また松村氏が謡う能と乙女文楽の共演という新しい試みも披露され、終始和やかな歓談のひとときがもたれた後、最後は近畿印刷

産業機材協同組合の加貫順三理事長による中締めという言葉で散会となった。



### 事業継続計画(BCP)セミナー

## 緊急事態への備え学ぶ

近畿印刷産業機材協同組合は11月12日、(株)モリサワ本社4階において、事業継続計画(BCP)に関するセミナーを開催、11名が参加した。

東日本大震災において、中小企業の多くが貴重な人材や設備を失ったことで廃業に追い込まれ、また被災の影響が少なかった企業においても、復旧が遅れて製品・サービスが供給できず、その結果事業を縮小し、従業員を解雇しなければならないケースも見受けられた。

今回のセミナーでは、中小企業診断士の岩佐修二氏を講師に迎え、「事業継続計画(BCP)策定が企業を強くする～BCP取り組みへの第一歩～」と題し、このような緊急事態への備えとしてのBCPへの取り組みを促す内容となった。

